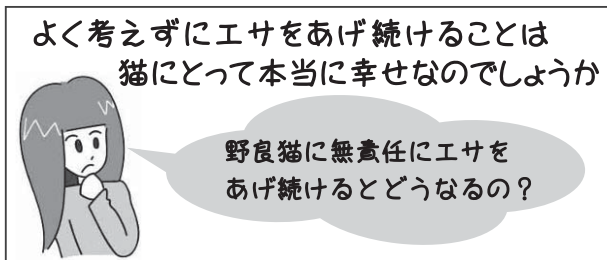


猫にとっての幸せってなんだろう？



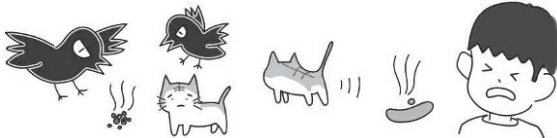
飼い主のいない猫も、その猫のお世話をしたい人も、野良猫に困っている人もみんな同じまちで一緒に暮らしています。動物の命を大切に、全ての人が住みやすいまちを作るために何ができるのかを考えてみましょう。
 圖動物指導センター (☎228-0168 FAX228-8156)

このページでご案内する内容は市ホームページで詳しく紹介しています



生活環境の悪化につながり猫が嫌われ者に

- エサの放置でエサ自体がゴミになり、不衛生になります
- カラスなど猫以外の動物がそのエサに集まり荒らされゴミが散乱します
- ふん尿や繁殖期の鳴き声による騒音の被害で猫が嫌われ者に



すぐに死んでしまう子猫がたくさん生まれます

猫の繁殖力はとても強く、不妊去勢手術をしていないメスとオスが1組いると、3年後には2,000頭以上に増えると言われていています(※)。ただし、野良猫は病気や事故、他の動物に襲われるなどの理由で、その多くが生後2カ月以内に死んでしまいます。

無責任なエサやりは、地域のの人に迷惑をかけるだけでなく、すぐに死んでしまう野良猫を増やしてしまうにゃー・・・

※環境省作成「もっと飼いたい？」より

野良猫による迷惑・被害を減らしたい

野良猫を減らすにはどうしたらいいの？

命を落とす子猫を減らしたい・・・

共通の願いを実現するために地域猫活動という方法があるにゃー

地域猫とは、特定の飼い主がいないものの地域住民の認知と合意、協力が得られて共同管理されている猫のことです。地域猫活動では、有志の団体が、飼い主のいない猫の不妊去勢手術を行い、エサやふん尿などを管理します。最終的に地域から野良猫がいなくなることをめざします。

活動の効果

- 飼い主のいない子猫が新たに生まれません
- エサの散乱やゴミがあさられることを防ぎます
- ふん尿の被害が減ります
- 繁殖期のうるさい鳴き声が低減します
- 猫にとっても生殖器系の病気予防・ストレス軽減になります

耳の切れ込みは不妊・去勢手術を受けた目印

地域猫活動をサポート

地域猫活動ガイドブック

活動の具体的な方法を紹介しているガイドブックは区保健センター、食品衛生課、動物指導センターでお渡しするほか市ホームページ(右上2次元コード)でご覧になれます。

不妊手術費用を助成

地域猫活動を実施する団体に対し、不妊手術費用の一部を助成します。助成額は1頭につき8,000円。1団体につき15頭まで。受け付けは4月1日から。条件などは、市ホームページ(右上2次元コード)参照。

一緒に幸せになっていただける方を探しています

動物指導センターでは、犬猫の譲渡を行っています。希望する方は、同センターに登録申請を行ってください。

家族にお迎えする前に

一度飼い始めた命は、簡単に手放してはいけません。飼う前に、本当に最後まで飼えるか、次のことをよく考えましょう。

- ペットの飼える住居ですか。
- ペットを飼うために、お金がいくらかかるか調べましたか。治療費や食費など、1年間に犬は約36万円、猫は約19万円かかることがあります。(※)
- あなたの代わりに飼ってくれる人はいますか。突然の入院、死亡などの不幸な事故は誰にでも起こります。

※環境省作成「飼う前も、飼ってから考えよう」より

飼ったりお世話したりすることはできないけれど動物のために何かしてあげたい

堺動物愛護ふるさと納税

堺市ふるさと応援寄附金のメニューとして「堺動物愛護ふるさと納税」を設けています。皆さんから頂いた寄附は、動物愛護啓発事業に活用します。寄附の方法などは、市ホームページ(2次元コード)参照。



堺市動物愛護フードバンク事業

市民・事業者の皆さんから犬猫のペット用品の寄附を受け付けています。頂いた寄附は、地域猫活動を実施する団体へ提供するほか、動物指導センターで収容する犬猫の飼育に活用しています。寄附の方法などは、市ホームページ(2次元コード)参照。

